

平成 25 年 11 月 18 日

報道関係者各位

横山 健 疾風勁草編

「横山健 しっふうけいそう 一疾風勁草編一」延長上映が決定

「横山健 一疾風勁草編一」上映期間について、好調な動員とお客様のご要望に応え、一部の劇場においてさらなる上映期間の延長を行うことを決定した。

11月16日(土)、公開初日舞台挨拶をユナイテッド・シネマ豊洲にて行い、満員大盛況の中初日を向かえたドキュメンタリー映画「横山健 一疾風勁草編一」が、お客様及び劇場からの強い要望に応え、上映期間を1週間延長[11月23日(土)～29日(金)]することを決定した。
なお、延長上映する劇場については、随時映画特設サイトにて発表していく。

【横山健 しっふうけいそう 一疾風勁草編一】

- 上映期間 : 2013年11月16日(土)～2013年11月29日(金)迄
- 当日券 : 2,000円(税込)
- 延長上映劇場 : 順次発表
- 当日券発売日 : 実施劇場にて当日券販売

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社イーライセンス 担当: 鈴木・岡本・佐藤

TEL. 03-5447-1137 FAX. 03-5449-0881

これは、横山健が何を背負い、何を信じてきたかを知る物語。

無邪気に手にいれてしまったモノ。

持て余すほどの期待と希望。

それらに翻弄されながらも、

いつでも自分が立つべき場所に立とうとした横山健。

横山健。ハイ・スタンダードのギタリストとして 1991 年からキャリアをスタートさせ、日本のパンクシーンを塗り替えたパイオニア。99 年からは自主レーベルのピザ・オブ・デスの代表取締役となり、以降ずっと日本のインディーズ・シーンを牽引してきた。2004 年からはソロ・アーティスト Ken Yokoyama として始動。今日まで我が国のパンク・ヒーローであり続けている。

ヒーローといっても、全方位死角のないロックスターとは似て非なるものだ。

ライブではファンとのノリツッコミで笑いを取り、くだらない下ネタも大好物。隣の兄ちゃんという言葉がぴったりの気軽さで、プライベートも包み隠さず開示する。家族への愛をストレートに歌いあげ、同時に激しい怒りや政治的な意見すらも歌にしていける。

だってそのすべてを俺は真剣に考えているのだから、という迷いのなさで。

要するにバランス感覚に優れた人なのだ。ユーモアがあればこそ本音は届きやすく、特別ではない自分の姿をさらけ出すからメッセージはよりリアルに響く。

パンクと言えどもやたらとポップなメロディが象徴しているように、誰からも愛されやすく親しみやすい、いわば「等身大に感じられるスター」が横山健だった。

ただ、横山本人はいついかなる時も「等身大」ではなかった。ここ数年は特にそう見える。

徹底的に思案したりギリギリまで無理をしたり、時には限界を超える精神状態でひたすら強い発信を続けてきた。

自分を信じ鼓舞することで、なんとか掴んできた実感の数々。それが説得力ある言葉となって彼の口から溢れだしたのは、2010 年に 4th アルバム『Four』を出したあたりだろうか。ハイスタの休止からちょうど 10 年。過去を冷静に振り返り、今の自分の影響力も考えたうえで、明確なヴィジョンを提示できるようになった 40 歳。

そんな充実した時期に本作の撮影は始まった。

生い立ちから始まり、ハイスタの栄光と挫折、ソロになってからの音楽人生を追いかけるはずだったドキュメンタリーは、しかし 3・11 以降急展開を見せていく。ありえないはずだったハイ・スタンダードと AIR JAM の復活。

今必要なメッセージを届けるために歌う内容を 180 度変えた Ken Yokoyama の新作。

激動の二年半、時には現実を受け入れられず、泣き笑いのような表情を見せながら、それでも横山健は発信を止めなかった。

俺が音楽を鳴らすことで救われる奴が一人でもいるのだ、という自覚があればこそ。

第三者の証言で成り立つ作品ではない。最後に意外な人物のコメントが入る以外は、本人の自覚的な発言ばかりである。

慎重に言葉を選びながら、よりの確に自分の想いを伝えようとする姿。これは、横山が、横山自身の言葉で、横山健を語り尽くすドキュメンタリーだ。

いち音楽家の回顧録ではない。なぜ俺はこう思い、こう発言し、こんなふうに行動したのか。

そのすべてが今必要なメッセージとして響いている。

横山健プロフィール



1969年東京出身。1991年にHi-STANDARDを結成、ギタリストとして活躍。
1999年にレーベル「PIZZA OF DEATH RECORDS」を設立、社長を務める。Hi-STANDARD活動休止後の2004年にはアルバム『The Cost Of My Freedom』でKen Yokoyamaとしてソロ活動を開始。
その後、KEN BANDを率いてライブを行い、2005年に『Nothin' But Sausage』、2007年に『Third Time's A Charm』をリリース。
2008年1月13日に日本武道館でのライブを「DEAD AT BUDOKAN」と称して行った(12000人動員)。
2010年には『FOUR』をリリース。同年には「DEAD AT BAYAREA」と称して東西アリーナー公演を行い14000人を動員する。
2011年9月18日にロック・フェス『AIR JAM 2011』を横浜スタジアムにてHi-STANDARDで主催する。そこで、11年ぶりにHi-STANDARDの活動を再開させ、12年には念願の東北で『AIRJAM 2012』を開催。
11月にはソロとして5枚目のアルバム『Best Wishes』をリリース。また自身の主宰するレーベル“PIZZA OF DEATH RECORDS”でも精力的に活動し、これまで SNUFF、HAWAIIAN6、COMEBACK MY DAUGHTERS、GARLICBOYS、MEANING、SLANG等の国内外のバンドを輩出してきており音楽シーンにおいて常に第一線で活躍している。

<PIZZA OF DEATH RECORDS 公式サイト>

<http://www.pizzaofdeath.com/>

<Hi-STANDARD 公式サイト>

http://hi-standard.jp/index_pc.php